PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

11-275286

(43)Date of publication of application: 08.10.1999

HO4N 1/00 HO4D 7/38 HO4W 1/65 HO4W 11/00 HO4N 1/21 (51)Int.Cl.

(71)Applicant: RICOH CO LTD (21)Application number: 10-073638 (22)Date of filing:

(72)Inventor: OSANAI TOSHITAKA 23.03.1998

(54) COMMUNICATION EQUIPMENT

(57)Abstract:

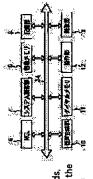
reception of image information at the destination of visit, PROBLEM TO BE SOLVED: To speedily know the

further, to speedily and surely transfer image information stored in an image memory to the designated destination of transfer as it is and moreover to prevent recording

the reception of the image information is reported to the destination to transfer the image information is inputted information is stored in an image memory 8, afterwards, portable telephone of a telephone number stored in a from the portable telephone, the image information is SOLUTION: When an absence mode is set during the received while this absence mode is set, the image dial memory 11 and when a signal designating the absence of an operator and image information is paper from being wasted.

transmitted to facsimile equipment at the designated

destination of transfer.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

Date of sending the examiner's decision of

rejection

Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or

[Date of final disposal for application] application converted registration]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision

of rejection]

Date of requesting appeal against examiner's

[Date of extinction of right] decision of rejection

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

1/2

(19) 日本国特許庁 (JP)

(x)公開特許公報(A)

特開平11-27528 (11) 特許出願公開番号

စ

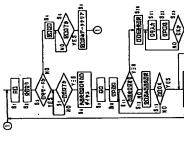
(43)公開日 平成11年(1999)10月8日

1/00 104 Z 1/65 H 11/00 303 1/21 Z 1/32 Z (全14頁) 及林質に続く	000006747 株式会社リコー 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 小山内 敏隆 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会 社リコー内 弁理士 有我 軍一郎	
F I H 0 4 N H 0 4 M H 0 4 N	(71) 出題人 000006747 株式会社少 東京部大田 (72) 発明者 小山内 粤 東京部大田 社リコー内 (74) 代理人 弁理士 名	
機別配号 1/00 104 7/38 1/65 11/00 303 1/21 華査請求、未請求 請求項の数 5	韓超平10-73638 平成10年(1998)3月23日	
(51) Int. Cl. ⁶ H 0 4 N H 0 4 Q H 0 4 M H 0 4 N	(22) 出廢者与(22) 出廢日	

(54) 【発明の名称】 通信装置

【瞬題】 本発明は、外出先で画情報を受信したことを **速やかに知ることができる上に、画像メモリに蓄積され** た画情報を指定された転送先にそのまま迅速、かつ確実 に転送することができ、さらに、記録板が無駄に消費さ れるのを防止することができる通信装置を提供するもの

とをダイヤルメモリ11に格納された電話番号の携帯電話 【解決手段】 オペレータの不在時に留守モードを設定 し、この留守モード設定時に画情報を受信したとき、画 5に蝦却し、携帯電話5から画情報の転送先を指定する **佰号が入力したときに、指定された転送先のファクシミ** 開報を画像メモリ8に警指した後、画情報を受信したこ リ装置4に画情報を送信するようにした。



| 作作指状の範囲|

[辨水項1] 受伯した画情報を一時的に誓領する画像メ **モリを有し、通信端末との間で信号の接受を行なう通信** 抜置において、

な留守モード設定時に画情報を受信したとき、数画情報 を前配画像メモリに蓄積した後、画情報を受信したこと **不在時の留守モードを設定する留守モード設定手段と、** を指定された通位端末に敷治する制御手取と、

前配通佰端末から画情報の転送先を指定する信号が入力 したときに、指定された転送先に画情報を送伯する転送 手段と、を有することを特徴とする通伯装置。

【請求項2】受信した画情報を記録出力する記録出力手

村記制御手段は、留守モード数定時に、前記画像メモリ の容量が所定値以下になったときに、受信した画情報を モリ内に画情報の一部を残して残りの部分を削除すると ともに、鮫画情報の一部を送信することを通信端末に報 竹配配録出力手段によって記録出力した後、村配画像メ

る信号が入力したときに、指定された転送先に画情報の - 部を送伯することを特徴とする請求項1配数の通信装 前配転送手段は、通俗端末から画情報の転送先を指定す

【髀水項3】前記制御手段は、前記通位端末に報知の許 **竹記転送手段は、前配通信端末から報知の不許可が指定** 可および不許可を指定する個号を出力し、

|静水項4|| 前配転送手段は、前配通知端末から蝦知の **下許可が指定されたときに、設定時間に強するまでに同 一の転送先に画情報を転送するとともに、設定時間を超** されたときに、以後の画情報の受俗時から前配通信端末 えたときに、前配通信端末に報知の許可および不許可を 指定する伯号を出力することを特徴とする請求項3配載 に報知するのを停止し、同一の転送先に画侑報を転送す 5ことを特徴とする請求項1または2配数の通伯装置。

ಜ

[請求項5] 前記制御手段は、低送先の電話番号を音声 **によって協**個場末に毅知することを特徴とする諸求項1 ~4 何れかに配做の通信装置。

発明の詳細な説明】

0001

洋しくは、画情報を受伯したことを即時に通伯端末に戦 **古して指定された伝送先に転送することができる通信装** [発明の属する技術分野] 本発明は、通信装置に関し、

[0002]

われると、この画情報を指定された相手先の通伯装置に するファクシミリ装置として、例えば、奥公平1-18 **かっては、オペレータの不在時等に画情報の受信が行む 伝送する機能を有するものがあり、このような機能を有 (従来の技術) 近時のファクシミリ装置等の通信装置に**

න

時間平11-275286

8

子を行なう記録部と、送信原稿を競み取る観取部と、前 前的記録部で印字した受信紙を送信口に移送すべく移動 する受信スタッカと、前記記憶部に記憶されている転送 ラム等を記憶する記憶部と、ファクシミリ受信の記録印 記入/出力部、記憶部、記憶部および酢取部を夫々制御 する制御街と、を有し、電話回線を介しての指令により 先の電話毎号を呼出してポーリング法館するポーリング 【0003】このものは、包括回線とファクシミリ装置 とを結合する入/出力部と、ファクシミリ送受信プログ 208号公報に配載されたようなものが知られている。 2

と、配録部で印字した受信紙を送信口に移送して航取部 で餌み取った後、この画情報を転送先のファクシミリ装 【0004】このものは、外出先等の電話からファクシ ミリ装置を呼出して画情報を受信したことが確認される **餌に転送するようになっている。**

制御部を設けたものから権戍されている。

[0008]

ことを外出先から強怒しなければならないため、受信が あったことを速やかに確認するためにはファクシミリ袋 置に頻楽に電話をする必要があり、確認作業が大変煩わ しいものとなってしまうとともに、確認のための眞話を しなければ受怕があったことを確認することができない 上に、外出先から転送の指示を行なわないと受信した画 情報を受取ることができないため、受任した画情報を転 送先で選やかに、かつ確実に受取ることができないとい うな従来のファクシミリ装置にあっては、受信があった 【発明が解決しようとする瞑題】 しかしながら、このよ う問題があった。 8

[0006] また、受信した画情報を一旦記録紙に記録 しまうという問題があった。そこで本発明は、外出先で にそのまま迅速、かつ確実に伝送することができ、さち した後、転送先に転送する際にはこの配録紙を轄取部に に、画像メモリに審徴された画情報を指定された転送先 に、記録紙が無駄に消費されるのを防止することができ より耳厥旣み取って悟送しなければならないため、固格 報が劣化する上に、送伯元の配録紙が無駄に消費されて 画情報を受信したことを速やかに知ることができる上 る通俗装置を提供することを目的としている。

蓄積する画像メモリを有し、通伯端末との聞で倡号の授 **曼を行なう通信装置において、不在時の留守モードを設** 定する留守モード数定手致と、数留守モード数定時に画 俯殺を受位したとき、歓画情報を前配画像メモリに蓄積 した後、画情報を受信したことを指定された通信端末に 報知する制御手段と、前配通信端末から画情報の転送先 を指定する信号が入力したときに、指定された転送先に 画情報を送信する転送手段と、を有することを特徴とし 上配膜題を解決するために、受信した画情報を一時的に 【課題を解決するための手段】 前水項1 記載の発明は、 [0007] 충

に転送することができるため、従来のように配録紙に記 たことを通信端末に直ちに知らせることができる。この とき、オペワータが携帯電話等の通信端末を持っている と、外出先が一定の場所でない場合に、オペレータは最 また、画像メモリに蓄積された画情報をそのまま転送先 録して再度館み取るのを不要にでき、送信元の通信端末 【0008】その場合、通信装置に画情報の受信があっ り、受信文書を迅渡、かつ確実に受取ることができる。 **春の転送先のファクシミリ装置等を指定することによ** の配録紙が無駄に消費されるのを防止することができ

送年段は、通信端末から画情報の転送先を指定する信号 情報の一部を送信することを通信端末に報知し、前配転 が入力したときに、指定された転送先に画情報の一部を 【0009】請求項2記載の発明は、上記課題を解決す は、留中モード数定時に、前記画像メモリの容量が所定 値以下になったときに、受信した画情報を前配配録出力 報の一部を残して残りの部分を削除するとともに、蚊画 るために、諸女項1記載の発明において、 安信した回信 **年段によって記録出力した後、前記画像メモリ内に画情** 報を記録出力する記録出力手段を有し、前配制御手段 送信することを特徴としている。

フローすると、通信中であっても通信終了を強制的に実 施したり、次の通信を行なうことができない等の不具合 に、受俗した画僚報を記録出力して送僧元から画情報を 【0010】このようにしたのは、画像メモリがオーバ すなわち、画像メモリの容量が所定値以下になったとき **再送信してもらうのを不要にして画情報を確実に受信す** が発生するため、画像メモリがオーバーフローする前、 るためである。 【0011】また、画像メモリがオーバーフローする場 報知して、最低限の(一部の)受信画情報を転送先に送 明は、上記県超を解決するために、請求項1または2記 数の発明において、前配制御手段は、前配通信端末に報 送手段は、前配通信端末から報知の不許可が指定された ときに、以後の画情報の受信時から前配通信端末に報知 伯することにより、転送先からでも画情報の送信元の特 定を行なうことができるようにして、転送先で画情報を 迅速、かつ確実に得ることができる。請求項3配載の発 知の許可および不許可を指定する信号を出力し、前配転 するのを停止し、同一の転送先に画情報を転送すること 合であっても、画情数の受信があったことを通信端末に か節徴としたいる。

記載の発明において、前記転送手段は、前記通知端末か 【0012】その場合、一定の骸形先にオペレータが卧 により、何回も親知を受けるのを不要にしつつ、転送先 4 記載の発明は、上記課題を解決するために、請求項3 時間居る場合等には、通信装置から受信があったことを **で画情報を迅速、かり確実に得ることができる。贈求項 報知するのを不要にしてそのまま画情報を転送すること**

ち報知の不許可が指定されたときに、設定時間に達する までに同一の転送先に画情報を転送するとともに、設定 時間を超えたときに、前配通信端末に報知の許可および 不許可を指定する個号を出力することを特徴としてい

アクシミリ装置等を指定することにより、受信文書を迅 **があったことを報知するのを不要にしてそのまま画情報 つしし悟法先や画情報を迅速、かり確実に飾ることがか** きる。また、オペレータが転送先を変更する場合であっ ても、通信装置から受信があったことを通信端末に直ち [0013] その協会、一定の簡脳先にオペレータが一 定時間(設定時間)居る場合等には、通信装置から受信 を転送することにより、何回も穀知を受けるのを不要に に知らせることができ、オペレータは最初の暫満先のフ **斑、かつ確実に受取ることがたきる。**

することにより、オペレータが転送先を確認することが できる。このため、転送先を間違えてしまうのを防止す よって通信端末に数知することを特徴としている。その 場合、転送先の電話番号を音声によって通信端末に報知 ることができ、画情報を指定する転送先に迅速、かつ臨 【0014】 請水項5記載の発明は、上記課題を解決す るために、前記制御手段は、転送先の電話番号を音声に 実に転送することができる。

[0015]

アクシミリ装置であり、このファクシミリ装置 1 は一般 回線や ISDN等の公衆網 2を介して送信元のファクシ ミリ装置3、転送先のファクシミリ装置4および通信場 末としての携帯電話5に接続されている。なお、通信端 末としては、携帯電話の他に一般の亀話器、ポケットペ リ装置の第1実施形態を示す図であり、請求項1または 転凸いて説明する。図1~3は本発明に保るファクシミ 図1において、1は本実施形態の通信装置を構成するフ 【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を図面に 5 記載の発明に対応している。まず、権成を説明する。 小母であっても見い。

【0016】図2t1ファクシミリ被倒1、3、4の構成 システム制御部1、画像メモリ8、記録部9、音声合成 部10、ダイヤルメモリ11、操作部12および観取部13から を示す図であり、全て同様の構成であるため、ファクシ ミリ装置1を中心に説明する。図2において、ファクシ 衛成されており、これら各装置6~13はパス14によって ミリ装置1は、網制御装置(以下、NCUという)6、 嵌続されている。

OM (Read Only Memory), RAM (Random Access Mem ory) 等を有し、ROMに格納された制御プログラムをC [0017] NCU6は公衆網2に接続され、公衆網2 との間で序の被除・也都を行なっようになっている。シ ステム制御部7は、ファクシミリ装置1全体を制御する ものであり、CPU (Central Processing Unit) 、R

PUで実行することにより、ファクシミリ装置1として

20

のシーケンスを行なうとともに、本発明の各種制御を実 **庁するようになっている。**

特別平11-275286

€

するようになっている。また、この記録部9は核光体ド ラムを有する電子写真方式のものであっても良い。音声 【0018】画像メモリ8は送信または受信される画情 報を一旦齧糧するものであり、ハードディスク、半導体 メホリ錚かの権权されたいる。陀槃的のなサータル繋子 を利用したサーマル配録装置が使用されており、記録部 普通配験紙にインクシートを介して関接的に画像を記録 9 は受信した画情報を感熟記録業子に直接、あるいは、 合成部10は所定の音声信号を作成して生成するもであ

る留守モードキーが散けられており、留守モード散定手 テム制御部1は画情報を画像メモリ8に審積した後、画 【0019】ダイヤルメモリ11は画情報の転送先の電話 モリ等から構成されている。操作部12はファクシミリ装 置1を操作するためのスタートキー、テンキー等の各種 情報を受信したことダイヤルメモリ11に格納された電話 番号および報知先の電話番号を格納しており、半苅体メ り、送受信命令等の各種命令が入力されるようになって いる。また、操作部12には不在時に留守モードを散定す 段を構成している。そして、この留守モードキーが操作 されると、留守モード時に画情報を受信したとき、シス **吞号の携帯電話5に通知するようになっている。なお、** 版作キーが散けられており、操作キーのキー操作によ システム制御部7は制御手段を構成している。

て、システム制御部7は携帯電話5から画情報の転送先 リ11から電話番号を読み出し、また、格納されていない 場合には、この電話番号をダイヤルメモリ11に格納する 音声合成部10に格納された転送先の電話番号を示す音声 によった携帯電船5に磐泊するようになっている。そし ヤルメモリ11に格納されていた場合には、ダイヤルメモ 一方で、この電話番号の転送先に画像メモリ8に蓄積さ れた画情報を読み出して送信するようになっている。こ を指定する信号が入力したときに、この電話番号がダイ 【0020】システム制御部7は、この穀知に際して、 のシステム制御部714転送手段も構成している。

【0021】 航政部13はCCD (Charge Coupled Devic 取割13は、システム制御部7かちの指令によって原稿を **走査して原稿の画情報を蘢み取るようになっている。次** お、図36/01-4・1・1の機んで、回転数の情報が符 を説明する。なお、図3のフローチャートはシステム制 **歯虧のROMに格施され、CPUによって実行されるプ** e) を利用したイメージスキャナが利用されており、航 ログラムである。

元) のファクシミリ装置 3 から画情報を受信すると (ス 【0022】 オペワータは、外出する前に破作割12の個 **チャードキーを権作して留中ホードを設定することがで** きるとともに、転送先の電話番号を操作部12によって設 定することができる。まず、特機状態で送信元(発信

画情報を蓄積し、1 通信分の画情報の受信が終了したか イヤルメモリ11から外出先の携帯電話5の電話番号を記 ても記録部9を作動させずに、画像メモリ8に受信した **吹いた、携帯電話5がオフフックして回線が接続される** テップS1、S2)、留守モードであるか否かを判別する 【0023】次いで、配録出力が終了したか否かを判別 る場合には、受信した画情報が画像メモリ8に蓄積され し (ステップS5) 、配録出力が終了した場合には、受 ステップS1に戻る。一方、留守モードが設定されてい 否かを判別し (ステップS1) 、終了した場合には、ダ と(ステップS9)、音声合成部10に格称された音戸デ (ステップS3)。 留守モードが設定されていないとき 後、記録部9によって記録出力する (ステップS4)。 み出してNCU6によって発序する (ステップS8)。 には、受信した画情報を一旦画像メモリ8に蓄積した 信した記録済みのデータをクリアして (ステップS6)

F伯号 (Dual Tone Matrix Frequency) によって予め設 いシアナウンスの後に、「予め格許されている転送先に る。この際、オペレータが携帯電話5を操作してDTM 【0024】この際に、例えば、「受信があります」と **にされている転送先の毎号に転送するか否かを判断し、** 画情報を転送しますか」というアナウンスが行なわれ DTMF信号を送信する。

ータを取り出して携帯電話5に対して音声通知する(ス

チップS10).

テップS12) 、音声信号で「転送先の電話番号は123 れ、携帯電話らから入力したコマンドによって良いか否 【0025】この個号を受けて、転送先の変更があるか そのまま転送するコマンドを入力する。吹いで、ダイヤ ルメモリ11に格納された転送先の電話番号を選択し(ス かの判断を行ない(ステップS13)、良いという確認が 否かを判別し (ステップS11)、 変更がない場合には、 -4567でよろしいですか」とアナウンスが行なわ とれた場合には、受信連絡を終了する。

【0026】女いで、ダイヤルメモリ11に格能された鴨 て公衆類2を発呼し (ステップS14、S15) 、低送先の 画像メモリ18内の転送済みの画情報を消去して(ステッ 送先のファクシミリ装置4を読み出してNCU6によっ 画像メモリ8に蓄稽された画情報の転送を開始し(ステ ファクシミリ装置4に接続されると(ステップS16)、 ップS17)、転送が終了したときに(ステップS18)、 プS19)、ステップS1に戻る。 \$

[0021] 一方、ステップSIIで転送先の変更が行な 先を避択してその電話番号を入力し (ステップS20、S 21)、電話番号の入力が終了すると、音声合成部10に格 紡された音声データを取り出して携帯電話5に対して臨 われる場合には、携帯電話5のオペワータが衝規の転送 例えば、「変更された転送先の電話番号は123-45 認のための音声通知する (ステップS22)。この際に、 20

6 7 です」というアナウンスの後に、「この情祕先の毎

そのまま転送先のファクシミリ装置4に転送することが をダイヤルメモリ11に格納した後、ステップS14以降の し、この留守モード設定時に画情報を受信したとき、画 5に報知し、携帯電話5から画情報の転送先を指定する り装置4に画情報を送伯するようにしたため、携帯電話 5に画情報の受信があったことを直ちに知らせることが できる。このとき、オペレータが携帯電話5を持ってい 【0029】また、画像メモリ8に蓄積された画情報を た、仮送先の包括毎号を音力によって携帯包括5に殺知 しているため、オペレータが転送先を確認することがで きる。このため、毎送先を間違えてしまうのを妨止する [0028] 吹いで、棋帯餌筋かちそれが良いという協 情報を画像メモリ8に警攬した後、画情報を受信したこ とをダイヤルメモリ11に格納された電話番号の携帯電話 **信号が入力したときに、指定された転送先のファクシミ** ると、外出先が一定の趙既でない始合に、よくレータは **公奇の転送先のファクシミリ装置4を指定することによ** できるため、従来のように配殴紙に記録して再度観み取 るのを不要にでき、送伯元のファクシミリ装置3の配録 **ことができ、画情報を指定する転送先に迅速、かり確実** 3)、良いという確認がとれた場合には、この電話番号 フローを実行してステップSIに戻る。このように本実 怒のコマンドが入力したか否かを判別し(ステップS2 り、受信文音を迅速、かつ確実に受取ることができる。 **極形態では、 オペワータの不在時に留中モードを設定 板が無駄に消費されるのを防止することができる。ま** に既送することができる。

【0030】図4は本発明に係るファクシミリ装置の第 【0031】また、システム制御部7は、留守モード数 後、画像メモリ8内に画情報の一部を残して残りの部分 2 契紘形態を示す図であり、請求項2または5配載の発 第1実施形態と同様であるため、その構成は図1、2を 用いて説明する。本実紘形態では、記録部9が受信した **定時に、画像メモリ8の容量四パイトが所定値nパイト** 以下になったときに、受伯した画情報を記録部9によっ **て記録出力し、記録部9によって画情報を記録出力した** を削除するとともに、画情報の一部を送信することを通 **貼に対応している。なお、本実施形態では、基本構成は 信婚末に報知して転送先のファクシミリ装置4に送信す** 画情報を配録出力する配録出力手段を構成している。

のファクシミリ装置3から画情報を受信すると(ステッ て安行されるプログラムである。また、図4では第1英 【0032】以下、 図4のフローチャードに補むいた画 情報の転送方法を説明する。なお、図4のフローチャー トロシステム制御部のROMに格納され、CPUによっ **極形態と回棋の処理を行なうステップには同一ステップ** 毎号を付している。まず、待機状態で送信元 (発信元)

るものである

(ステップS33)。 留午モードが設定されていない場合 プS31、S32)、留守モードであるか否かを判別する 5は、受信した画情報を一旦画像メモリ8に蓄積した

後、配録部9によって配録する(ステップS34)。

ップ S31に戻る。一方、留守モードが設定されている場 合には、画像データの残量がnパイト以上であるか否か (ステップS35) 、配録が終了した場合には、受信した **記録済みのデータをクリアして(ステップS36)、ステ** 受信した画信報が画像メモリ8に警復されても配録部9 を作動させずに、受信した画情報を画像メモリ8に蓄稿 し、1 通信分の画情報の受信が終了したか否かを判別し (ステップS42)、 株丁した協合には、ダイヤルメモリ |1から外出先の携帯電話5の電話番号を配み出してNC [0033] 次いで、配録が終了したか否かを判別し を判別し (ステップS37)、 nパイト以上の場合には U6によって発辱する (ステップS43)。 2

があります」というアナウンスの後に、「予め格納され された音力データを取り出して携帯電話5に対して音力 **通知する (ステップS45)。 この際に、例えば、「受信** スが行なわれる。この際、オペレータが携帯電話5を操 作してDTMF佰号によって予め設定されている転送先 【0034】次いで、携帯電話5がオフフックして回線 が接続されると(ステップS44)、音戸合成部10に格赦 たいる 転送先に 画情報を 転送しますか」という アナウン の番号に転送するか否かを判断し、DTMF信号を送信

ន

は、画像メモリ8がオーバーフローする危険性があるた 否かを判別し(ステップS12)、以降は第1実権形態と 同様の処理を実行する。一方、ステップS37で画像メモ リ8の疫虫がnパイト以下であるものと当断したときに め、配録部9によって指定員(例えば、第1頁)以外の 耳を配録出力し (ステップS38) 、配録出力が終了した は、画像メモリ8から配録済みの画情報をクリアした後 (ステップS40) 、画像メモリ8に指定された頁の画情 [0035] この信号を受けて、転送先の変叉があるか か否かを判断して(ステップS39)、終了した場合に 段のみを格徴する (ステップS41)。

43)。 次いで、携帯電話5がオフフックして回線が接続 [0036] 吹いで、1通信分の画情報の受信が終了し は、ダイヤルメモリ11から外出先の携帯包括5の包括番 号を読み出してNCU6によって発序する(ステップS されると(ステップS44)、音声合成的10に格納された 中ケゲータを取り出して枕井亀路5に対して中戸油当中 たか否かを判別し (ステップS42)、 終了した場合に

目のデータのみを転送しますか」というアナウンスが行 [0037] この際に、例えば、「メモリがオーパーフ ローする危険があるのでデータを配録しました」という アナウンスの後に、「予め格納されている転送先に1頁 る (ステップ 545)。

なわれる。この際、オペワータが携帯電話5を操作して

20

[0038] この信号を受けて、転送先の変更があるか **否かを判別し(ステップS12)、以降はステップS15~** |1では転送先のファクシミリ装置4に1頁目の画情報の みを送伯する。このように本実拡形態では、留守モード ト以下になったときに、受信した画情報を配録前9によ 8内に1頁目の画情報を残して残りの部分を削除すると ともに、1頁目の画情報を送信することを携帯電話5に **報知して転送先のファクシミリ装置4に1頁目の画情報** り、次の適信を行なうことができない等の不具合が発生 クシミリ装置 3 から画情報を再送俗してもちうのを不要 DTMF佰号によって予め設定されている転送先の番号 数分時に、画像メモリ8の谷虫ロベイトが形が面にベイ **って記録出力し、画情報を記録出力した後、画像メモリ** を送信するようにしたため、画像メモリ8がオーパフロ するのを防止するために、画像メモリ8がオーバーフロ 一する前に受信した画情報を配録出力して送信元のファ に転送するか否かを判断し、DTMF個号を送信する。 **一した協信中であったも通信終了を強制的に実施した** にして画情報を確実に受信することができる。

装置4に送信することにより、低送先のファクシミリ装 【0039】また、画像メモリがオーバーフローする場 合であっても、画情報の受信があったことを通信端末に 数知して、最低限の受信画情報を転送先のファクシミリ き、既泌先のファクシミリ装置4で画情報を迅速、かつ 個4からでも画情報の送伯元の特定を行なうことがで 強実に得ることができる。

第1 実施形態と同様であるため、その権威は図1、2を 【0040】図514本発明に係るファクシミリ装置の第 3 英施形態を示す図であり、請求項3または5配載の発 即に対応している。なお、本実権形態では、基本権成け が、携帯電話5に報知の許可および不許可を指定する信 **号を出力するとともに、携帯電話5から報知の不許可が** 指定されたときに、以後の画情報の受信時から携帯電話 5 に報知を行なわずに同一の転送先のファクシミリ装置 用いて説明する。本実施形態では、ツステム制御部フ 4に画情報を転送するようにしたものである。

(ステップS65)

て実行されるプログラムである。また、図5では第1実 【0041】以下、図5のフローチャートに柑んごん画 悄報の転送方法を説明する。 なお、図5のフローチャー トなシステム無御部のROMに格徴され、CPUによっ **施形態と同様の処理を行なうステップには同一ステップ** (ステップS33)。 留守モードが数定されていない場合 のファクシミリ装置3から画情報を受信すると(ステッ 番号を付している。まず、特徴状態で送位元 (発信元) プS51、S52) 、留守モードであるか否かを判別する には、受債した画情報を一旦画像メモリ8に蓄積した 【0042】次いで、記録が終了したか否かを判別し 後、配験部9によって記録する(ステップS54)。

特開平11-275286

9

であるか0であるかを判別する (ステップS58)。この ップS51に戻る。一方、留守モードが設定されている場 合には、1通伯分の画情報の受信が終了したか否かを判 フラグは同一の転送先のファクシミリ装置に画情報を転 送するように指定した場合には1が立ち、異なる転送先 別し (ステップS57) 、終了した場合には、フラグが1 を指定した場合には0となる。

ずにステップS14以降の処理を実行して自動的に同一の 【0043】フラグが1の場合には、携帯電話を呼出さ 低光先のファクシミリ装置4に画情報を転送する。 方、フラグが0の場合には、ダイヤルメモリ11から外出 フックして回線が接続されると (ステップS60)、 甘戸 合成部10に格納された音声データを取り出して携帯電話 先の携帯電話5の電話番号を競み出してNCU6によっ て発呼する (ステップ59)。 次いで、携帯電話らがオフ 5に対して曲が脳的する (ステップS61)。 【0044】この際に、例えば、「受信があります」と いうアナウンスの後に、「予め格納されている転送先に 画信報を転送しますか」というアナウンスが行なわれ

テップS64)、良いという確認がとれた場合には、太通 **号を受けて、転送先の変更があるか否かを判別し(ステ** ップS62)、変更がない場合には、そのまま転送するコ **マンドを入力する。吹いで、ダイヤルメモリ11に格徴さ** れた転送先の電話番号を選択し (ステップS63) 、音声 個号で「転送先の電話番号は123-4567でよろし 力したコマンドによって良いか否かの判断を行ない(ス る。この際、オペレータが携帯電話5を操作してDTM F伯号によって予め設定されている転送先の番号に伝送 するか否かを判断し、DTMF信号を送信する。この信 いですか」とアナウンスが行なわれ、携帯電話5から入 **旧以降同一の転送先に画情報を送るか否かを判断する** ន စ္တ

【0045】この処理は音声合成部10に格納された音声 お、音卢伯号によるアナウンスが許可および不許可を通 データを取り出して携帯電話5に対して音戸通知、例え ば、「以後同一の伝送先に転送しますか」というアナウ ンスを行ない、携帯電話5から同一であるか別であるの かを示す信号が入力したことにより判断を行なう。な 如する伯号に相当する。

を飲み出してNCU6によって公衆網2を発呼し (ステ ップ S14、S15)、転送先のファクシミリ 装置 4 に 接続 【0046】そして、同一である場合には、フラグ1を ヤルメモリ11に格納された転送先のファクシミリ装置4 されると (ステップS16)、 画像メモリ8に蓄積された たときに (ステップS18) 、 画像メモリ18内の信述改み 画情報の転送を開始し (ステップS17) 、 転送が終了し 立て、同一でない場合には、フラグを0にした後、ダイ

【0047】一方、ステップS62で転送先の変叉が行な われる場合には、携存電話5のオペレータが新規の伝送 の画情報を消去してステップ S51に戻る。 င္တ

R殿済みのデータをクリアして (ステップ S 56) 、ステ

(ステップS55) 、配録が格丁した場合には、受信した

69)、電話番号の入力が終了すると、音声合成部10に格 先を選択してその電話番号を入力し(ステップS68、S **挑された音力ゲータを取り出して抜帯和語らに対して確** 例えば、「変又された転送先の電話番号は123―45 61です」というアナウンスの後に、「この転送先の番 怒のための音声通対する(ステップS10)。この際に、 **号で正しいでしょうか」というアナウンスが行なわれ**

をダイヤルメモリ11に格納した後、次通伯以降同一の転 【0048】欠いで、携帯電話からそれで良いという猫 窓のコマンドが入力したか否かを判別し (ステップS1 1)、良いという確認がとれた場合には、この包括番号 送先に画情報を送るか否かを判断し(ステップS65)、 **判型哲果に描んにたステップS66以降のフローを映作す**

たときに、以後の画情報の受信時から携帯電話5に殺知 にししり、配送先た画情報を迅速、から確実に得ること [0049] そして、ステップ S66またはステップ S67 とを執知せずに同一の転送先に画情報を送るか、オペレ **ータに受信があったことを報知した後、転送先の確認を** 行なご慰御を行なご。このように本実権形態では、携帯 するとともに、携帯包括5から報知の不許可が指定され を行なわずに同一の領法先にファクシミリ被置4に画情 タが長時間居る場合等には、ファクシミリ装置1から受 **によって置換されたフラグに基凸いてステップS58の判 柜を行ない、 軟体包括5のオペアータに収回がむったい** 電話5に報知の許可および不許可を指定する伯号を出力 **熱を転送するようにしたため、一定の転送先によくレー** 伯があったことを殺知するのを不要にしてそのまま画情 報を転送することにより、何回も報知を受けるのを不要

情報を転送する制御を解除するためには、操作部12に転 り装置の第4実施形態を示す図であり、請求項4または [0050] なお、本実紘形態では、同一の転送先に画 送制御解除キーを設けてこのキーを操作したり、留守モ **ードを解除すれば良い。図6は本発明に係るファクシミ** 甚本権成け第1 実施形態と同様であるため、その構成け 5 配数の発明に対応している。なお、本実施形態では、 図1、2を用いて説明する。

【0051】本実拡形類では、システム制御街7が、模 力するものである。以下、図6のフローチャートに描く 情報を転送するとともに、設定時間を超えたときに、携 帝電話5に殺知の許可および不許可を指定する信号を出 特徴語5から熱対の不許可が指定されたときに、設定時 間に強するまでに同一の転送先のファクシミリ装置に画 いて画情報の伝送方法を説明する。

処理を行なうステップには同一ステップ番号を付してい 【0052】なお、図6のプローチャートはシステム制 御部のROMに格赦され、CPUによって実行されるプ ログラムである。また、図6では第1寒施形態と同様の

2) 、留守モードであるか否かを判別する(ステップS8 **た画情報を一旦画像メモリ8に書積した後、記録部9に** まず、仲機状態で送俗元(発俗元)のファクシミリ 3)。 留守モードが設定されていない場合には、受信し 装置3から画情報を受信すると(ステップS81、S8 よって配録する (ステップS84)。

テップ 886)。 一方、留守モードが設定されている場合 には、1通信分の画情報の受信が終了したか否かを判別 し (ステップS81) 、株丁した場合には、オペレータが 予め設定した制限時間(数定時間)内であるか否かを判 別する(ステップS88)。この制限時間は例えば、午後 (ステップS85) 、配録が終了した場合には、受信した 記録液みのデータをクリアしてステップ SBIに戻る (ス 12:00である場合には、1200というように指定 [0053] 吹いで、記録が終了したか否かを判別し

に同一の転送先のファクシミリ装置4に画情報を転送す 11から外出先の携帯電話5の電話容号を読み出してNC U6によって発辱する(ステップ89)。 吹いで、枝帯亀 **話5ポオフフックして回染が接続されると(ステップS** 90)、音戸合成部10に格納された音戸データを取り出し いうアナウンスの後に、「予め格納されている転送先に [0054] そした、鮑原時間内であれば、携帯電話5 を呼出さずにステップS14以降の処理を実行して自動的 [00:55] この際に、例えば、「受怕があります」と る。一方、刨限時間を過ぎた協合には、ダイヤルメモリ て携符覧語5に対して音声通知する(ステップS91)。

る。この際、オペレータが携帯電話5を操作してDTM F伯号によって子め数定されている転送先の番号に転送 するか否かを判断し、DTMF信号を送信する。この信 号を受けて、転送先の変更があるか否かを判別し (ステ ップS92》、変更がない場合には、そのまま転送するコ マンドを入力する。吹いで、ダイヤルメモリ11に格納さ れた気送先の観話番号を選択し(ステップS93)、音声 間号で「飯送先の電話番号は123-4567でよろし いですか」とアナウンスを行なった後、「以後同一の転 画情報を転送しますか」というアナウンスが行なわれ 送先に転送しますか」というアナウンスを行なう。 ಜ

[0056] 次いで、携帯電話5から入力したコマンド ウンスを行なった後、携帯電話5から出力されたDTM F伯号によって制限時間の設定をするか否かの判断を行 良いという確認がとれた場合には、制限時間の設定を実 **虧するか否かの判別を行なう(ステップS95)。この判** 別に際しては、音声合成部10に格納された音声信号によ **って、「例えば、制限時間を設定しますか」とういアナ** によって良いか否かの判断を行ない (ステップS94)

【0057】そして、携帯電話5から制限時間の歓応を しないという信号が出力されると、この信号を受けて時 間制限を設定しないと判断した場合には、ステップ S14

20

いう指定時間を示す個号が入力すると、この時間を設定 以降のフローを実行して自動的に指定された転送先に画 情報を送信する。また、携帯電話5がDTMF信号によ って制限時間を設定するという信号を出力すると、この 個号を受けて音声合成部10で「何時何分まで制限します る。 携帯電話からDTMF信号によって「1200」と した後(ステップS96)、ステップS14以降のフローを か」という音声信号を取り出して携帯電話5に送信す **東行して自動的に指定された転送先に画情報を送엽す**

先を選択してその電話番号を入力し (ステップS97、S 38) 、電話番号の入力が終了すると、音声合成部10に格 甘された音声ゲークを取り出して抜帯観話らに対して確 [0058] また、ステップS92で転送先の変更が行た われる場合には、携帯電話5のオペレータが新規の転送 例えば、「変更された転送先の電話番号は123ー45 61です」というアナウンスの後に、「この転送先の番 怒のための音声通凶する(ステップS99)。 この際に、 **身で圧しいでしょうか」というアナウンスが行なわれ**

るか否かの判別を行なう (ステップ S95)。 以後は、ス [0059] 吹いた、枕杵曳筋からそれで良いという臨 **駆のコマンドが入力したか否かを判別し(ステップS10** をダイヤルメモリ11に格納する。また、この後、「以後 同一の情滋先に情滋しますか」というアナウンスが行な 確認のコマンドが入力したか否かを判別し、よれで良い という確認がとれた場合には、制限時間の散定を実施す 9)、良いという確認がとれた場合には、この包括番号 われ、ステップS100で携帯電話からそれで良いという テップS96以降の処理を実行する。

までに同一の転送先のファクシミリ装置4に画情報を転 送するとともに、設定時間を超えたときに、携帯電話5 [0060] このように本実施形態では、携帯電話5か **ら報知の不許可が指定されたときに、般定時間に達する 一角の情法先にポペワータが一角時間(数定時間)居る** を報知するのを不要にしてそのまま画情報を転送するこ とにより、何回も報知を受けるのを不要にしつ心転送先 場合等には、ファクシミリ装置 1から受信があったこと に報知の許可および不許可を指定するようにしたため、 で画情報を迅速、かつ確実に得ることができる。

【0061】また、オペレータが転送先を変更する場合 であっても、ファクシミリ装置 1 から受信があったこと は最寄の転送先のファクシミリ装置4を指定することに なお、本実施形態では、自動転送時間内に転送先の **に対した携帯電話5からDTMF佰号によった変更また** を携帯電話5に直ちに知らせることができ、 オペフータ **聞話番号の変更をしたいときには、ファクシミリ装置 1** より、受信文書を迅速、かつ確実に受取ることができ け取消しが可能である。

帯阻平11-215286

8

合に、オペレータは最春の転送先のファクシミリ装置等 を指定することにより、受信文告を迅速、かつ確実に受 【発明の効果】 請求項1配載の発明によれば、通信装置 に画情報の受信があったことを通信端末に直ちに知らせ ることができる。このとき、オペレータが携帯電話等の **通信端末を持っていると、外出先が一定の場所でない場** 取ることができる。

に配録紙に記録して再度読み取るのを不要にでき、送信 元の通信端末の配録紙が無駄に消費されるのを防止する ことができる。請求項2記載の発明によれば、画像メモ リがオーパフローすると、通信中であっても通信終了を 強制的に実施したり、次の通信を行なうことができない 節の不具合が発生するため、画像メモリがオーバーフロ **一する前、すなわち、画像メモリの容虫が所定値以下に** なったときに、受信した画情報を配録出力して送信元か ら画情報を再送馆してもらうのを不要にして画情報を確 【0063】また、画像メモリに署積された画情報をそ のまま転送先に転送することができるため、従来のよう 実に受怕するためである。

[0064] また、画像メモリがオーパーフローする場 合であっても、画情報の受信があったことを通信端末に **宿することにより、転送先からでも画情報の送信元の特** 定を行なうことができるようにして、転送先で画情報を **迅速、かり臨実に飾ることができる。暗水頂3貯銀の転** 即によれば、一定の情滋先にすペレータが安時間困る協 合等には、通信装置から受信があったことを頼知するの を不要にしてそのまま画情報を転送することにより、何 回も報知を受けるのを不要にしつの、転送先で画情報を **出滅、かつ臨実に得ることができる。請求項4配録の略** 明によれば、一定の転送先にオペワータが一定時間(数 とを戦知するのを不要にしてそのまま画情報を転送する ことにより、何回も蝦知を受けるのを不要にしつの転送 報知して、最低限の (一部の) 受信適情報を転送先に送 定時間)居る場合等には、通伯装置から受怕があったこ 先で画情報を迅速、かつ確実に得ることができる。

【0065】また、オペレータが転送先を変叉する場合 であっても、遠信装置から受信があったことを追信端末 に関わに包のむることができ、オペワータは穀布の殷淑 先のファクシミリ装置等を指定することにより、受旧文 者を迅速、かつ確実に受取ることができる。 請求項5配 戦の発明によれば、転送先の電話番号を音力によって通 **信端末に観知することにより、オペレータが転送先を確 點することができる。このため、転送先を間違えてしま** うのを防止することができ、画情報を指定する転送先に 田巌、かり確実に低法することができる。

|図酒の簡単な説明|

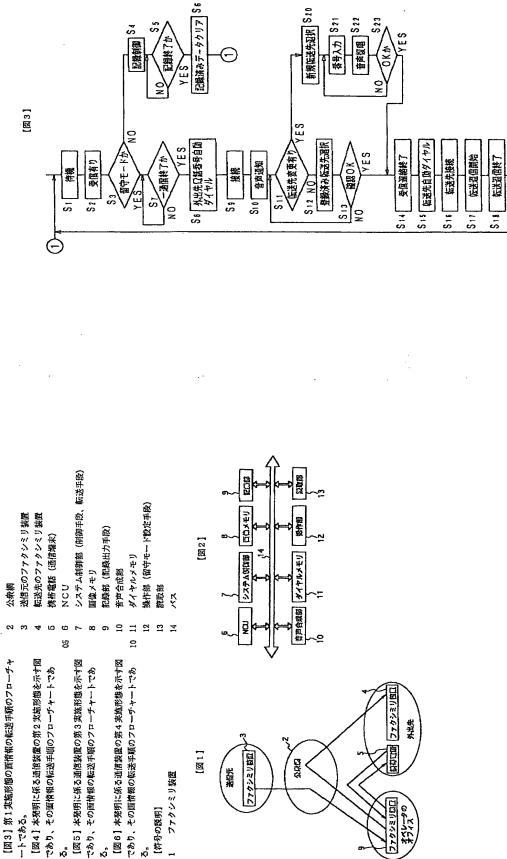
[図1] 本発明に係る通信装置の第1英粒形態を示す図 であり、その通信システムの概念図である。 【図2】第1 実施形態の通信装置の1例であるファクシ ミリ装置のプロック図である。

[0062]

特開平11-275286

ートである。

画像メモリデータ 転送済み分消去



[図1]

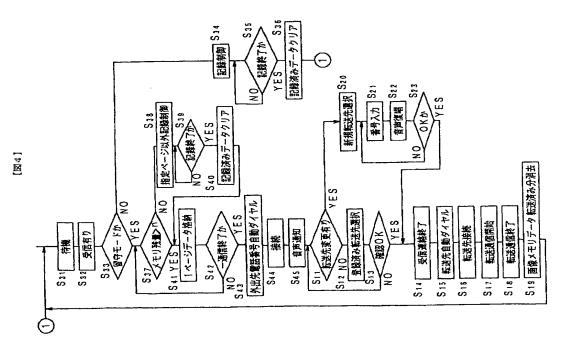
1 ファクシミリ装置 [符号の説明]

ファクシミリ数型

比照

44C

は口面 ファクシミ 光光光



フロントページの続き

(51) Int. Cl.³ H 0 4 N 1/32

新規制送先通報 番号入力 S98 事事人力 S98

S93 NO 登録済み転送先選択

制限時間設定実施が

S15 転送先自動ダイヤル

S147

転送先接続

S-67

S17

外出先電話番号自動ダイヤル

音声通知

[886]

特開平11-275286

職別記号

109L

FI H04B 7/26